

2016年度 環境活動レポート

2017年5月31日作成

1. 環境方針

株式会社シントーは、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、企業のあらゆる面で地球環境の保全に配慮して行動し、それと共に住みよい地域の発展に貢献することとして、次の通り基本方針を定める。

[基本方針]

- 工場生産活動運営に関係する国内の環境関連法令並びに、同意したその他の要求事項を遵守すると共に、さらに可能な範囲で自主規制を制定し、一層の環境保全に取り組めます。
- 事業活動を通じて汚染防止、廃棄物の低減、リサイクルの促進、省エネルギーを重点とした下記の項目について継続的な改善を進めます。
 - 地球温暖化抑制運動の推進に努めます。
 - 事業設備から、機械作動油及びプラスチック原材料の漏洩防止に努めます。
 - 廃棄物の分別適正処理を行うと共に、廃棄物排出の削減に努めます。
 - 事業設備及び、事務所に係わる天然資源（電気エネルギー・自動車燃料・上下水道・ガス）などの使用量削減に努めます。
 - グリーン購入を積極的に推進します。
- 工場の全従業員に環境方針並びに地球環境の大切さを教育し、意識の高揚及び保全活動を推進するため全ての組織、従業員が活動できる環境管理組織を整備します。
- 工場間の連携を密に、海外メーカーに負けない効率的で高品質な「ものづくり」を心がけ、生産工程から発生する環境負荷の低減に取り組めます。
- 環境方針及び環境活動レポートは社外の求めに応じて開示します。

制定日：2011年4月25日

株式会社シントー
代表者

横 瀧 勉

2. 対象範囲

認証登録範囲は本社・東京工場及び山形工場の全ての活動
(活動期間 2016年4月1日～2017年3月31日)

3. 組織の概要

■事業者名及び代表者名

株式会社シントー 代表取締役社長 横瀧 勉

■所在地

本社・東京工場：東京都荒川区町屋7-9-5 山形工場：山形県新庄市福田字福田山711-54
T e l : 03-3892-1616 Fax:03-3819-0174 T e l : 0233-22-6557 Fax:0233-22-9559
URL <http://www.sintoh.co.jp>

■環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

統括責任者 代表取締役 横瀧 勉
事務局担当者 森 奈穂子(本社・東京工場勤務) 富樫 宏二(山形工場勤務)

■事業の内容

本社・東京工場 山形工場 : プラスチック製品の製造(射出成形及び組付け)

■事業の規模

2016年度 活動規模	単位	本社・東京工場	山形工場
生産量	t	130	73
出荷額	百万円	523.17	326.75
従業員	人	24	25
床面積	m ²	1,924	1,744

■沿革

1931年	8月	東工舎創立
1980年	9月	株式会社シントー設立
1993年	5月	山形県新庄市に敷地18,327m ² (5,553坪)を取得(現:山形工場)
1995年	12月	株式会社東工舎(現:東京工場)と株式会社シントー(現:山形工場)が合併して株式会社シントーとなる
2000年	11月	株式会社リコー、環境マネジメントシステム登録工場取得
2006年	11月	エコアクション21環境マネジメントシステム認証取得(山形工場)
2007年	9月	エコアクション21環境マネジメントシステム認証取得(東京工場)
2008年	8月	ISO9001品質マネジメントシステム認証取得(東京・山形工場)
2009年	9月	エコアクション21環境マネジメントシステム、東京工場、山形工場認証統合
2011年	11月	ISO9001:2008認証更新 審査登録証 Q1295 登録番号:0000963

4. 環境目標 ・ 環境目標（中長期・年間）（2017年4月1日制定）

中長期目標	2017年度から2018年度は数値の変動がある為、削減目標は設定せず、維持管理とする 2019年度は新たな環境目標・活動計画を作成し、環境負荷削減活動を行う
2017年度目標	2017年度は数値の変動がある為、削減目標は設定せず、維持管理とする

5. 環境活動計画 活動計画 具体的実施項目（目標達成の手段）

- 1 電力使用量の削減 ・ 自社、省エネルギーの遵守、成形機の効率的稼働、デマンドの設定維持、設備の見直し
- 2 廃棄物排出量の削減 ・ 廃棄物の分別、処理の徹底、紙類の再使用化及び排出低減、不良品低減による廃プラ排出削減
- 3 水道使用量の削減 ・ 節水全般、設備の漏水点検、水道使用量の管理、設備の見直し
- 4 CO2排出量の削減 ・ 電気、A重油、廃棄物、水道の削減計画を確実に実行。ガソリン使用量の削減、エコドライブの推奨
- 5 グリーン購入推進 ・ 事務用品、備品等エコ対象品を優先的に購入する
- 6 品質改善活動の達成 ・ ISOの目標管理表（QMS改善活動）に基づく活動により品質改善・不良削減を行う
- 7 A重油使用量の削減 ・ ボイラの温度、使用上の管理、A重油の使用量の管理を実施する

（山形工場）

6. 環境目標の実績 活動計画の取組結果とその評価

2016年度年間目標 2014年度の実績値を100%として2016年度までに使用量、排出量を2%削減

<本社・東京工場> 2016年度の実績・評価（期間：2016年4月～2017年3月）

No	取組項目（年間）	単位	2014年度	2015年度	2016年度	2016年度		評価	主な理由
			実績値	実績値	目標	実績値	削減率		
1.	電力使用量	千kwh	378.4	309.6	370.8	320.2	-15%	○	デマンド管理を行い、エアコン稼働開始時間を設定し目標達成。機械稼働増で、昨年度より実績は増加したが料金は削減した。
2.	廃棄物排出量 単純焼却等	t	5.6	4.2	5.4	4.1	-26%	○	分別を守り、前年同様の排出量になった。スプレー缶、ライター回収箱を設置し分別を進めた
3.	上水道使用量	m3	312	238	305	256	-17%	○	水道管破損や水漏れ、出しっぱなしがなく、節水が守られた。前年比増は機械稼働増の為
4.	CO2排出量	t-co2	216.8	177.9	212.46	189.3	-12%	○	電力使用量・ガソリン使用量が前年より増加したが、削減目標は達成できた。
5.	グリーン購入 (毎年1件1%増)	登録件数	91	95	93	99	増8件	○	環境対応商品の増加、紙一用紙購入先変更により、購買率も増加した。
		購買率	—	45.2%	46.2%	64.9%	増19%		
6.	品質改善活動(ISO実施計画)の達成	%	89%	85%	80%	79%	-10%	×	工場移設に伴う仕入先変更時の不良増によるが、打合せによる見直し対策を行っている

※二酸化炭素排出量は、電力、ガス、ガソリン、軽油の合計とし、H27年11.30公表の東京電力排出係数0.505kg-co2/kwhを使用する。

<山形工場> <<評価基準>>受注量に変動があり、それに伴い機械稼働率も変動する為、売上高当たり（売上百万円あたりの使用量・排出量）で換算し結果を評価した。

項目	単位	2014年度	2015年度	2016年度
売上高	百万円	352.53	343.76	326.75

No	取組項目（年間）	単位	2014年度	2015年度	2016年度	2016年度		評価	主な理由
			評価基準 基準実績値	実績値	目標	実績値	削減率		
1.	電力使用量	kwh	470,865	538,827	461,447	541,306		×	製品作込みの為機械の稼働時間が増加した。スマートロック活用でデマンド上昇を防止
		kwh/百万円	1,336	1,567	1,309	1,656	増24%		
2.	廃棄物排出量 単純焼却等	Kg	7,940	3,530	7,781	5,680		○	製品作込増による不良・粉碎機故障等昨年度より量は増加したが、削減目標は達成出来た
		kg/百万円	23.10	10.27	22.64	17.38	-24%		
3.	上水道使用量	m3	604	975	591	1,563		×	成形機稼働に比例し使用量も増加した。水漏れはなく人員増もあった。
		m3/百万円	1.76	2.84	1.72	4.78	増176%		
4.	CO2排出量	kg-co2	294,043	321,016	288,162	326,995		×	電力・灯油・A重油の増加が大きく影響したが、ガソリン使用量は半減した。
		kg-co2/百万円	834.09	933.84	817.41	1000.75	増19%		
5.	グリーン購入(毎年1件1%増)	購入件数	35	30	37	38	増3	○	環境対応商品や切り替えの増加があった。引続き購入時に検討する。
		購買率	—	—	—	70.1%	—		
6.	品質改善活動(ISO実施計画)の達成	%	89%	85%	80%	79%	-10%	×	工場移設に伴う仕入先変更時の不良増によるが、打合せによる見直し対策を行っている
7.	A重油使用量(売上高換算しない)	L	5,347	1,471	5,240	3,285	-39%	○	温度管理、使用時間は守られ、目標達成したが、使用量は昨年度より増加した

※二酸化炭素排出量は、電力、ガソリン、灯油、A重油の合計とし、東北電力排出係数H27年11.30公表0.571kg-co2/kwhを使用する。（売上百万円あたり使用量）

7. 次年度の取組内容

＜本社・東京工場 山形工場＞

2017年度年間目標 2017年度は数値の変動がある為、削減目標は設定せず、維持管理とする

※今後の予定として、2017年度後半に山形工場への移設、東京本社の移転がある。

倉庫の新設・成形機の移設・新たな設備設置等があり、多様な業務が予想されるが環境に対応した活動を実施していく。

2016年12月に、エコアクション21認証登録10年継続事業者の表彰を受けた。今後も継続して行けるよう全社で活動していく。

環境負荷削減活動として

- ・エコ委員による月1回の社内パトロールを実施し、活動の確認・改善箇所の早期発見にあたる。
- ・工場移設に伴い、環境活動実績が大きく変動するのでエコ会議を含め、早めの連携で対応していく。
- ・各設備整理に伴い、廃棄物の増加が予定されるので、分別基準にそって正しく廃棄リサイクルする。
- ・作り込み・仕入先変更による不良・廃棄物の増加にならないよう環境方針にそって取り組んでいく。
- ・各設備の新設、廃棄後は、仕様を調査確認し適正に管理出来るようにする。
- ・具体的実施項目は前年度同様とする。

8. 代表者による全体の評価と見直しの結果

2016年度の活動報告を受け、環境活動の集計数値データの考察については、ある程度の理解が出来るものだった。

そもそも、エコ活動は何の為にやっているのか。社員其々が地球環境の為、少ない資源で効率よく生産し、無駄な資源を消費しないことである。

報告を受けた中で山形工場は、数値を計測しているだけではないだろうか。

対、前年比と比較した時、数値の増減があった場合に、変化量に対して考察・精査して具体的な方策をとる様な事は行われているのか。

今年度後半より、生産は山形に集約され、東京は管理部門だけになり、エネルギー消費の大半は山形工場消費される事になる。

データの集計方法は今までと同じでよいか。変化点があった場合に、2ヶ月ごとの環境保全会議で考察をたて具体的な対策を打っていけるのか。

予測と想像力を働かせ、実のあるエコ活動の推進が行われる事を期待したいと思う。

9. 環境関連法規制への違反・訴訟等の有無

(株) シントーでの事業活動にかかわる、全ての関連法規を抽出、整理し、取りまとめています。

主な関連法規	対象物	主な関連法規	対象物
騒音規制法・振動規制法	射出成形機・コンプレッサー・粉砕機	電気事業法	自家用電気設備
廃棄物処理法	廃プラ・廃油等	PCB廃棄物特別措置法	コンデンサー、トランス
消防法	消防用設備	フロン排出抑制法	第一種特定製品(業務用エアコン)
大気汚染防止法	小型ボイラー	省エネ法	電気・重油・灯油・ガソリン等
浄化槽の管理	浄化槽	火災予防条例	危険物(重油・機械作動油・灯油等)

※国・都・県・区・市関係の法規制等(改正)については、常に入手できるように1年毎に関係機関(都、区、監署、工業部会)のホームページへアクセスして対応しています。

※遵守状況は6月に確認、遵守されています。

公害防止関連の規制、廃棄物リサイクルに関する規制、消防等の

規制違反について、関係機関から過去5年間に指摘は無く、訴訟等もありません。

10. その他の活動

- ・ ペットボトルキャップ、缶飲料プルトップの回収 ベルマークの回収
(株)シントー(本社)では社内、家庭に郵送された郵便物の使用済切手、飲料されたペットボトルのキャップ、缶プルトップ、ベルマークの分別回収を実施、途上国へのワクチン供与、車いす譲渡、海外医療への協力等、積極的に参加、社会貢献を心がけています。

① ペットボトルキャップ【東京・山形】 ③ プルタブ 1,130g

14.75Kg 6,342ヶ ワクチン 7.35人分

CO2削減46.46Kg 10/8日 2/22日回収

※回収車両が中止となる為2017年4月分より、計量後

近隣の信用金庫の回収箱に届ける予定(まとめてキャップの貯金箱に送られる)

② 使用済切手 【東京・山形】 ④ ベルマーク回収開始(2014年度より)

荒川区社会福祉協議会

「震災援助」被災地の子供たちを応援

2016年度回収 280g

(東京 120g 山形 160g)

・ 私のエコ活動

会社全体の取り組みの他に、仕事・家庭の中で環境について考え、さまざまな活動をしています。

【取り組みの例(社内インタビューより)】

会社で・・・



- ・ 夏場の冷房使用は電力が大きくなるので稼働順番を守り、デマンドを超えないように注意している。
- ・ 休憩時や、部屋を離れるときは、電気のスイッチをこまめに切っている。
- ・ 使用済みダンボールの再利用可を確認して使うことで、資材の削減をしている。
- ・ 廃棄物を捨てる時は分別が合っているかよく確認して、不明時は周囲に聞いている。
- ・ 毎週の一斉清掃時に、廃棄物を分別して置場に出すので蓄積されず、片付いている。
- ・ 打合せは長くならないよう、事前に準備をし、メール連絡を増やして用紙の削減をしている。
- ・ 水道の水は細く出して使用して、閉め忘れがないようにしている

家庭で・・・



- ・ 電力の大きな電気製品の使用が重ならないように注意している。
- ・ 他の部屋に移動するときは電気を消して、不要な器具はコンセントを抜いている。
- ・ 新規購入時は、エコ対応品を選ぶようにしている。
- ・ ゴミの分別方法が会社と違うので、リストを確認しながら収集に出している。
- ・ エコバックを利用して、無駄な包装や、ビニール袋の削減をしている。
- ・ テレビの環境番組を見るようになり、エコ料理が増えガス料金が削減された。
- ・ 専用洗剤を減らし、自然素材の万能洗剤を使うようになって、水質保全になり手荒れも少なくなった。
- ・ 買物前に、冷蔵庫の在庫を確認し買いためを控え食品ロスを削減している。

できるところから積極的に取り組んでいます。